

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 (政策)	番号	8	名称	持続可能な環境をつくるまち			
施策	番号	3	名称	斎場・墓園の維持管理			
主担当部	生活環境部		主担当課	環境衛生課		部長名	北嶋 浩一
関係部			関係課				

2. 施策の基本方針(第3次総合計画の基本方針をもとに記入する)

この施策の目的	市民の生活に密接し、かけがいのない施設である市営斎場をスムーズ並びに円滑に運営を行い、市営香久山墓園を整備し、適正な管理をすることにより市民サービスに寄与する。
---------	--

3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
	市営斎場の火葬設備等の定期的な保守点検により安定した火葬業務を持続でき、設備の適切な維持管理に努めることにより市民の要望に応える。市営墓園への墓参者に気持ちよく安心して迷惑をかけないよう維持管理を行い、墓地利用者への使用上の各届出・手続きを迅速に行うことにより市民ニーズに応える。 また、返還墓地の販売及び墓地計画の見直しに着手する。	市営斎場の葬祭場の使用件数が、充実された民間葬祭場の利用の増加により減少している。墓地に関しては、少子高齢化・核家族化が進む中で、従来の家制度にこだわらず、承継者が不要で安心して多くの人々が一緒に眠ることができる合葬式墓地を建設し管理運営を行っている。
これまでの成果	合葬墓地については、順調に申し込みが増加している。 火葬炉についても26年度より3年計画により大規模改修が完了し、利用者に不便を掛けない様対応が出来ている。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標年度)	備考欄	
		実績	目標	実績	目標	目標	目標		
指標の推移	施策指標① (成果指標)	斎場等使用件数(件)	94	115	100	120	120	125	
	施策指標② (成果指標)	合葬式墓地 地下合葬室利用率	6.28	7.58	7.72	8.4	9.08	9.38	
	施策指標③ (成果指標)	合葬式墓地 個別安置利用率	7.95	9.45	9.4	10.75	12.1	13.45	
	施策指標④ (成果指標)								
	施策指標⑤ (成果指標)								
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算			
	歳出 (直接事業費)(a)		146,890	190,982	183,250	185,077			
	歳入 (b)	受益者負担額	132,028	119,663	119,917	76,784			
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)	0	0	0	0			
	(a)-(b)=一般財源		14,862	71,319	63,333	108,293			
	正職員	従事者数 (単位:人)	2.80	2.80	2.60	2.00			
		人件費(c)	17,282	18,200	16,900	13,000			
トータルコスト (a)+(c)		164,172	209,182	200,150	198,077				

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	市営斎場の使用件数にあまり変化はない。又、市民より要望があった合葬式墓地が完成し、24年度から受付を行っており、当初は申込件数が予想より多かったが、最近では計画どおりの件数である。しかしながら、今後は核家族化に伴い墓地を祭主する方が減少し、申込件数が増えると予測している。				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	斎場及び墓園は市民生活に欠くことのできない重要施設である。又、斎場に於いては市内唯一の施設でもあることから適正な維持管理運営を行っていくことは、非常に重要かつ不可欠であり貢献度は高い。				

6. 施策の課題

この施策の課題	市営斎場が完成してから30年近く経過しており、火葬場施設を含めた各設備の老朽化が進んでおり、定期点検を含め不具合が発見された場合には、その都度修理を重ねながら対応している状況であるが、今後は大規模修理が必要であると考えられる。
---------	---

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	1	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	市営斎場の老朽化が進んでおり、今後市民ニーズに合った施設の改修計画を検討する。返還墓地の計画的な販売を継続する。			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	市営斎場管理運営事業は、各施設の設備延命化のため改修を強化していく。墓園施設管理事業は、合葬式墓地の申込を継続して行う。一般墓地の維持管理費徴収を見直し継続して行う。墓地造成販売事業は、新規の計画の見直し及び返還墓地の計画的な販売を行い、市民のニーズに応える。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度—事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性—事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)—施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価		
NO.	課名、事務事業名及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及びH26決算額	貢献度	方向性	優先度(ソフト任意)
1	環境衛生課	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行う。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	墓園施設管理事業 (内部管理・維持管理)		39,981 (千円)			
2	環境衛生課	合葬式墓地の建設・墓園センターの改修・周辺整備工事・返還墓地の整備・新規墓地の建設。	1 継続する	a	見直しながらかつ続ける	
	墓地造成販売事業 (ハード)		27,411 (千円)			
3	環境衛生課	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所で予約受付を実施している。利用者には、本庁にて死亡届・埋火葬許可申請書等の書類提出及び料金の支払後に火葬許可書等必要書類を持って斎場に行って、火葬・収骨をしていただく。火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運営。	2 現状のまま継続	a	拡大する	
	市営斎場管理運営事業 (内部管理・維持管理)		115,858 (千円)			

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 6月 4日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	墓園施設管理事業								
	担当部名	生活環境部	担当課名	環境衛生課	課長名	小山 隆彦				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち						
		施策	3	斎場・墓園の維持管理						
	予算事業名	市営墓園管理費								
	事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度			
	対象	市営香久山墓園利用者			事業の 内容説明	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行う。				
	事業の 目的	市営香久山墓園に来られる方々に気持ちよく墓参していただく。								
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明								
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	管理料徴収件数		5,459	5,532	5,488	5,400	5,500	5,500	
	活動指標②	合葬式墓地申込件数		108	60	81	60	60	60	
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)		66,427	41,603	39,981	41,684			
		歳入 (b)	受益者負担額	93,406	79,483	80,744	37,222			
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)							
		(a) - (b) = 一般財源		-26,979	-37,880	-40,763	4,462			
正職員		従事者数(単位:人)	1.25	1.15	1.25	1.05				
		人件費(c)	7,715	7,475	8,125	6,825				
トータルコスト(a)+(c)		74,142	49,078	48,106	48,509					
単位当 りコスト	計算式等 ()/()									
備考 (これまでの 実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	使用者に墓地内の草刈をお願いをしているにもかかわらず、隣の墓地所有者より草が生い茂っているとの苦情および駐車場が少ないとの苦情の他は概ね成果は高い。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	事業が円滑に行われているため、貢献度は高い。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	各墓園の草刈清掃未実施者に対し広報等でお知らせする事で、実施向上を図り、人件費削減が期待できる。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		平成23年度に墓の継承者問題の解消をするため一般墓地のほかに合葬式墓地を建設し、お墓をお持ちでない方にも焼骨を埋葬できることにより利用も増えてくる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	墓地利用者の駐車場の確保、墓参路の排水改修等の維持管理を行う。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 6月 4日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	墓地造成販売事業						
	担当部名	生活環境部	担当課名	環境衛生課	課長名	小山 隆彦		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち				
		施策	3	斎場・墓園の維持管理				
	予算事業名	市営墓園管理費						
	事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度	
対象								
事業の目的	墓園建設事業地である地元の理解及び協力を得て、計画的に墓地造成・拡張工事の実施。合葬式墓地建設・返還墓地整備。		事業の内容説明(全体計画)	合葬式墓地の建設・墓園センターの改修・周辺整備工事・返還墓地の整備・新規墓地の建設。				
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明						
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い		
説明								
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(総計目標)	
	成果指標							
	活動指標①	新規築造墓地販売数(基)	0	0	0	0	100	
	活動指標②	返還墓地販売数(基)	64	80	80	100	50	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出(直接事業費)(a)		5,141	30,689	27,411	29,924	
		歳入(b)	受益者負担額					
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)					
		(a) - (b) = 一般財源		5,141	30,689	27,411	29,924	
		正職員	従事者数(単位:人)	0.30	0.30	0.25	0.10	
			人件費(c)	1,852	1,950	1,625	650	
	トータルコスト(a)+(c)		6,993	32,639	29,036	30,574		
	単位当たりコスト	計算式等 ()/()						
備考(これまでの実績等)	平成26年度末現在で墓地築造数 5,574基、そのうち3,371基(2.7㎡)、2,203基(3.3㎡)							

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	墓園事業を進める中で、当初から10年はほぼ毎年販売を行ってきましたが、最近約5年間は2年おきに返還墓地の整備を行い再販売もおこなっており、計画的に墓地希望者の動向を見ながらニーズにあった合葬式墓地も建設し、平成24年度より販売をおこなっている。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明				
				1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度
			説明	4 完了する			
			説明	墓園内の駐車場が手狭となっており、墓参者にも不便をかけている。返還墓地の整備及び販売も引き続き行うと共に駐車場の拡張工事及び新規墓地の築造工事も行っていく。			

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 6月 4日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	市営斎場管理運営事業									
	担当部名	生活環境部	担当課名	環境衛生課	課長名	小山 隆彦					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち							
		施策	3	斎場・墓園の維持管理							
	予算事業名	斎場管理運営費									
	事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度				
	対象	市営斎場利用者			事業の 内容説明	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所 所で予約受付を実施している。利用者には、本庁にて死亡届・埋 火葬許可申請書等の書類提出及び料金の支払後に火葬許可書等 必要書類を持って斎場に行って、火葬・収骨をしていただく。 火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運 営。					
	事業の 目的	斎場等の設備の適切な維持管理に努め、火葬及び葬儀による 斎場利用等に係わる業務を円滑に遂行する。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は 全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、 社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
		説明									
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	火葬件数			1,444	1,450	1,512	1,450	1,400	1,400	
	活動指標①	斎場使用件数			94	95	116	100	100	100	
	活動指標②	家族葬祭場件数			62	70	84	90	90	90	
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			75,322	118,690	115,858	113,469			
		歳入 (b)	受益者負担額			38,622	40,180	39,173	39,562		
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			36,700	78,510	76,685	73,907			
正職員		従事者数(単位:人)			1.25	1.35	1.10	0.85			
		人件費(c)			7,715	8,775	7,150	5,525			
トータルコスト(a)+(c)			83,037	127,465	123,008	118,994					
単位当 りコスト	計算式等 ()/()										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	民間の葬祭場が増加しており、市営の葬祭場の使用件数が減少傾向にあるため成果はやや低い。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市内で唯一の火葬場であり貢献度は高い。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	斎場ができて27年経過しており、設備の老朽化が目立っています。今後計画的に大規模修理を要するため、低減余地はない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		平成26年度：回廊等屋根修繕設計委託 平成27年度：回廊等屋根修繕及び斎場高圧ケーブル取替え修繕 平成26～28年度：火葬炉耐火材全面及び燃焼部品更新							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	斎場施設の長期整備計画をたてて各施設の設備の延命化を図る。							